

寄付

◆宮坂建設工業(宮坂寿文社長、帯広)が札幌市北区グループホーム管理者連絡会に車椅子寄贈

27日、同社の有川進執行役員副社長が北区役所を訪れ、同連絡会の塚越宣忠代

表らに車椅子3台(計13万円相当)を贈った写真。

同社は社会福祉の向上を目指し、2008年から本社と支社のある帯広、札幌、釧路の関係団体に毎年3台ずつ寄贈。鉄くすなど現場で生じた廃材を回収する業



者のリサイクルポイント制度を活用して車椅子を購入している。

有川副社長は「(寄贈は)来年で10年になる。続けることが大事」と話し、塚越代表は「大変ありがたい」と感謝していた。

2016.04.28北海道通信

宮坂建設工業(帯広、宮坂寿文社長)は二十七日、同社札幌支店の所在地、札幌市北区の社会福祉協議会に車いす3台を寄贈した。

北区役所で行われた贈呈式には、有川進副社長、佐々木勝幸札幌支店長らが出席。有川副社長が「北区は活動拠点(支店)を置いている地域で、日ごと地域の皆さんに大変お世話になっている。車いす寄贈は今回

で九回目になるが、少しでも社会福祉活動のお役に立てればありがたい」とあいさつし、北区グループホームに贈られ活用される。塚越

車いす3台 9年間寄贈

認知症高齢者施設で活用

宮坂建設工業が札幌北区に

ム管理者連絡会の塚越宣忠代表は「区内には三十六のグループホームがあり、車いすは希望する施設に六月に配置する。今回の寄贈で希望する施設に配置が一巡



同社の車いす寄付は平成二十年から毎年継続し九回目。廃品回収業者のリサイクルポイント制を活用し、本社と支店を置く帯広、札幌、釧路の三市に贈呈を続けている。北区への寄贈は今回を含め計二十七台

する。長年にわたる寄贈は大変ありがたい」と感謝し